

[江別市] 施策達成度報告書

政策 01 環境と調和する都市の構築

施策 03 水とみどりの保全と創出活用

主管課 環境室環境課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止の観点から、みどり(樹木)は二酸化炭素を吸収する役割を担っており、保全・創出の重要度は増している。 市民の自然環境、緑化保全意識の高まりは年々増高の傾向にあり、「豊かな心の醸成」と「自然希求」のライフスタイルが浸透し、草花や樹木を生活空間に取り入れ、自然とふれあいながら生活を楽しむ市民が増えている。 自治会等で取り組む「花のある街並みづくり運動」や農村地域での花で彩る取り組みなど、快適な環境づくりが地域の取組みとして実践されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に貴重な平地原生林である野幌森林公園など、貴重な自然の恵みを活かしたまちづくりが求められている。 水と緑豊かな街づくりのためには、地域の特徴を活かした環境保全活動が市民的運動として発展、定着することが不可欠である。

施策の目的

市民・事業者・行政の協働により水と緑が豊かで、快適なまちを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境(緑資源・水資源)、市民、事業者、行政

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

水とみどり豊かなまちになっている。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
緑に親しめる空間があると思う市民割合	%	82.7	85.5			↗
水に親しめる空間があると思う市民割合	%	62.8	67.6			↗

施策の達成状況 (21年度)

「緑に親しめる空間があると思う市民割合」「水に親しめる空間があると思う市民割合」はほぼ横ばいの傾向にある。これは、花のある街並みづくり運動の取り組み、市や各種団体等が行なう身近な自然を活用したイベント等とおした水と緑を感じる機会の提供によるものと考えられる。今後も「緑の保全や緑化活動に対する支援」・「自然とふれあう機会づくり」・「自然環境学習」など、緑や水を守り育てる事業の実施を通して自然環境に対する意識の醸成に努める。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	27,693	24,707	32,040
事業費(千円)	13,066	11,015	16,633
人件費(千円)	14,627	13,692	15,407

01 水とみどりの保全

基本事業の目的

市民と事業者、行政が協働して地域の水と緑を守り、身近な自然環境や水辺環境を守ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境、市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

水と緑を守る。
身近な自然環境や水辺環境を守る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
地域制緑地(緑地保全地区等)面積	ha	5,240	5,240			5,240

基本事業の達成状況 (21年度)

「地域制緑地(緑地保全地区等)面積には変化がない。自然と共生する「潤いのあるまちづくり」を進めるうえから、今後も、緑地の保全に努めるとともに、市民とともに木や花を植えながら緑の多い潤いあるまちづくりを進める。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	3,277	4,718
事業費(千円)		788	971
人件費(千円)		2,489	3,747

02 水とみどりの創出活用

基本事業の目的

市民・事業者が、木や花を植えるなど緑を育てるとともに、水辺を活用し水と緑を感じ、ふれあうことにより、潤いのある緑豊かなまちづくりを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

自然環境、市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

緑を育てる。
緑を育み、緑豊かなまちづくり。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
花のある街並みづくり事業の参加団体数	件	106	106			120
自宅で緑を育てている市民割合	%	59.4	55.7			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

「花のある街並みづくり事業の参加団体数」「自宅で緑を育てている市民割合」は横ばいの傾向にある。これらの取り組みが継続されているものの、新たに取り組もうとする団体等が少ない状況にある。今後も「花のある街並みづくり事業」やパネル展等により緑化意識の啓蒙・啓発に努め、また、自治会等と連携し花や木を植えることをとおして、「潤い」や「やさしさ」を醸成しながら成果の向上に努める。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	16,830	21,602
事業費(千円)		8,117	12,441
人件費(千円)		8,713	9,161